

---

## 自治体公式スマートフォンサイト 49.98%のページに 障害者配慮の J I S 規格基準に関する問題あり

- 総務省 2023 年度調査と同一システムによる調査 -

---

<https://www.a-brain.com/news/2024/20240607.html>

<https://www.aao.ne.jp/research/aion/2023/pref.html>

【プレスリリース】報道関係者各位

2024 年 6 月 7 日

アライド・ブレインズ株式会社

国や自治体のホームページの使いやすさに関して 20 年以上に渡りコンサルティング実績を有しているアライド・ブレインズ株式会社（東京都千代田区、以下、アライド・ブレインズ）は、自治体の公式ホームページを対象に、高齢者・障害者のホームページ利用への配慮（ウェブアクセシビリティ）に関する JIS 規格（JIS X 8341-3:2016）への対応状況を調査し、結果を公表しました。

本調査はスマートフォンで表示された公式ホームページを対象に調査を実施しました。その結果、調査対象となった **839 自治体全ての公式ホームページ（スマートフォン表示）に、JIS 規格の適合レベル A 又は AA の問題があり、ほぼ 2 ページに 1 ページ（49.98%）に問題がある**ことが確認されました。

対象団体別調査結果を、情報提供サイト「A.A.O.（<http://www.aao.ne.jp/>）」に公表しております。

### ◆ 背景

ウェブアクセシビリティとは「高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること」を意味します。公共機関のホームページは、障害者差別解消法（改正法令和 6 年 4 月施行）を踏まえ、ウェブアクセシビリティの JIS 規格の基準を満たすことが求められています。

総務省「令和 4 年通信利用動向調査」結果において、インターネット利用の 71.2%がスマートフォン端末であることが明らかになっており、スマートフォン表示でのウェブアクセシビリティ配慮が求められています。

### 本プレスリリースに関するお問い合わせ

アライド・ブレインズ株式会社 担当：大谷、大久保

Tel : 03-3261-7431 Fax : 03-3261-7432 e-mail : office@aao.ne.jp

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-10-9 九段 VIGAS ビル 2 階

## ◆ 調査内容

- ・ 対象団体：自治体（都道府県、全市、特別区）計 862 団体 ※うち 23 団体解析不能
- ・ 調査対象：公式ホームページの全ページ
- ・ 調査期間：2023 年 5 月から 2024 年 2 月
- ・ 調査基準：総務省 miChecker2.0 の基準で、JIS X 8341-3:2016 の適合レベル A 及び AA について検証
- ・ 調査内容：調査基準に基づき調査対象の全ページ（全 HTML ファイル）を検証し、問題があるページ数及び箇所数をカウント
- ・ 調査手法：総務省「公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」と同一のシステムを用いてトップページからリンクを辿り、同一ドメイン内のリンクが有効な全ページを対象に、スマートフォンのブラウザ幅で表示された内容を検証
- ・ 特記事項：JIS 規格に基づき人の判断を含めた確認を行った場合、本調査の結果以上に問題が確認される可能性が高い。また本調査で問題と判定された箇所には、ページの内容等を含めて人による確認を行った場合に問題がないと判断されるものが含まれている可能性がある。

## ◆ 調査結果

スマートフォンで表示された自治体の公式ホームページ全ページに対して、問題のあるページの割合を集計すると、平均して 49.98%でした。

なお、自治体のパソコン表示の公式ホームページを対象とした 2022 年度の総務省「公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」結果と比較すると、スマートフォン表示の公式ホームページは問題のあるページの割合が約 20%多いことが分かりました。

表：団体種別ごとのレベル A 又は AA に問題のあるページの割合

	本調査結果 (スマートフォン表示対象)		(参考)総務省 2022 年度「公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」 参照元: 下記より転記 <a href="https://www.soumu.go.jp/main_content/000875448.pdf">https://www.soumu.go.jp/main_content/000875448.pdf</a>	
	団体数	公開されている全ページのうち、レベル A 又は AA に問題のあるページの割合	団体数	公開されている全ページのうち、レベル A 又は AA に問題のあるページの割合
都道府県	39	56.03%	45	28.49%
指定都市	17	45.40%	20	20.32%
特別区	21	63.22%	23	20.66%
その他の市	762	48.53%	765	32.55%
全体	839	49.98%	853	30.48%

表：地方ごとのレベル A 又は AA に問題のあるページの割合

	団体数	公開されている全ページのうち、レベル A 又は AA に問題のあるページの割合
北海道・東北地方	116	58.50%
関東地方	203	46.44%
北陸・甲信越地方	88	51.09%
東海地方	98	58.44%
近畿地方	115	38.08%
中国・四国地方	95	52.86%
九州・沖縄地方	124	54.03%

各団体の調査結果は、情報提供サイト A.A.O. 『2023 年 Aion 全ページ JIS 対応調査「自治体編」』にて公表しております。

表：レベルA又はAAに問題のあるページの割合（問題の割合が少ない順）

No.	団体名	公開されている全ページのうち、レベルA又はAAに問題のあるページの割合	レベルA又はAAの問題の箇所数
1	茨城県神栖市	0.02%	14
2	東京都千代田区	0.19%	23
3	神奈川県足子市	0.23%	33
4	東京都武蔵野市	0.36%	774
5	埼玉県蕨市	0.39%	311
6	東京都杉並区	0.42%	173
7	神奈川県座間市	0.50%	127
8	群馬県桐生市	0.52%	156
9	群馬県高崎市	0.59%	182
10	栃木県那須塩原市	0.65%	747
11	埼玉県東松山市	0.69%	388
12	東京都板橋区	0.82%	247
13	東京都青森市	0.93%	112
14	埼玉県春日部市	1.02%	672
15	東京都多摩市	1.07%	746
16	埼玉県白岡市	1.09%	290
17	埼玉県蕨市	1.13%	134
18	埼玉県戸田市	1.13%	1,063
19	千葉県習志野市	1.23%	690
20	東京都三鷹市	1.27%	1,388
21	神奈川県鎌倉市	1.42%	452
22	東京都中央区	1.49%	279
23	茨城県つくば市	1.62%	1,256
24	千葉県流山市	1.67%	1,457
25	埼玉県鴻巣市	1.69%	445
26	埼玉県志木市	1.90%	170
27	茨城県ひたちなか市	2.07%	778
28	埼玉県入間市	2.10%	437
29	千葉県白井市	2.31%	1,562
30	栃木県佐野市	2.36%	2,078
31	千葉県成田市	2.45%	1,155
32	東京都国分寺市	2.68%	1,384
33	東京都国立市	2.69%	1,312
34	千葉県四街道市	2.77%	2,501
35	千葉県鎌ヶ谷市	2.77%	3,929
36	東京都小金井市	2.86%	911
37	埼玉県北本市	2.87%	828
38	神奈川県厚木市	2.96%	1,915
39	東京都東大和市	3.22%	688
40	東京都東久留米市	3.29%	395

<https://www.aao.ne.jp/research/aion/2023/pref.html>

## ◆ まとめ

総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024 年版）」では、各公共機関が提供しているホームページの現状や運用の事情を踏まえ改善計画を立案し実行することを求めています。また、スマートフォン向けの基準が追加された国際標準 Web Content Accessibility Guidelines 2.2 への対応に着手することを求めています。

アライド・ブレインズでは、本調査により各公共機関公式ホームページで公開されている全ページの JIS 対応状況を明らかにするとともに、結果の公表、解説セミナーの実施等を通じて、継続的に公共機関ホームページのウェブアクセシビリティ向上の支援をおこなっております。

## 【ウェブアクセシビリティとは】

高齢者や障害者を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること。ウェブアクセシビリティ配慮の基準である JIS X 8341-3:2016 が 2016 年 3 月に改正公示された。特に、官公庁や自治体をはじめとする公的機関のホームページは、総務省が 2024 年 5 月に発表した「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024 年版）」に基づき、日本産業規格 JIS X 8341-3:2016 及び国際標準 Web Content Accessibility Guidelines 2.2 に対応することが求められている。

### みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024 年版）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/b\\_free/guideline.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html)

## 【JIS の適合レベル・達成基準について】

- 適合レベル：JIS X 8341-3:2016 に設けられた、ウェブアクセシビリティ対応の程度を示したものの。最低限の要求事項であるレベル A、その上位のレベル AA、レベル AAA の三段階が用意されている。
- 達成基準：ページの作成において対応すべき個別的な要件を規定したもの。61 項目あり、各項目はレベル A、レベル AA、レベル AAA のいずれかに対応している。

## 【総務省「公式ホームページの JIS 規格対応状況調査」について】

総務省が平成 29 年度、30 年度、令和 2 年度、3 年度、4 年度、5 年度に、国、地方公共団体、独立行政法人地方独立行政法人の公式ホームページを対象に実施した JIS 規格対応状況調査。調査結果は各団体宛に送付された。

本調査は、この総務省による調査と同一のシステムを用いて実施し、結果集計も総務省の上記調査と同基準で実施した。

### 調査結果

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/b\\_free/guideline.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html)

## 【総務省「miChecker」について】

総務省が開発し広く一般に無償提供しているアクセシビリティチェックツール。ホームページ 1 ページずつ検証を行う。

### 総務省「miChecker」

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/b\\_free/michecker.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/michecker.html)

## 【Aionについて】

公共機関のウェブアクセシビリティ検証のために総務省が開発し提供しているアクセシビリティチェックツール「miChecker(エムアイチェッカー)」のチェック項目と基準に準じて、ホームページの全ページを一括して検証するプログラム。総務省の公開するmiCheckerのソースコードを活用しアライド・ブレインズが開発。



### 全ページ JIS 検証プログラム Aion

<https://www.aao.ne.jp/aion/index.html>

## 【アライド・ブレインズ株式会社について】

調査・コンサルティングファーム。ウェブサイトの品質確保・向上に関し、総務省推進プロジェクト支援、官公庁・自治体・企業のコンサルティングなど多数の実績がある。ウェブアクセシビリティのJIS規格（JIS X 8341-3:2016）改正原案検討委員。「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024年版）」は、総務省からの請負により作成を担当した。

### アライド・ブレインズ株式会社

<http://www.a-brain.com/>

## 【A.A.O.について】

自社運営のウェブサイトを核にした、提供者と利用者のための公共機関ウェブサイト品質向上支援プロジェクト。サイト及びメールマガジン、セミナーを通じ、関連情報や支援ツール、改善支援サービスなどを提供している。



### A.A.O.

<https://www.aao.ne.jp/>

## 本プレスリリースに関するお問い合わせ

アライド・ブレインズ株式会社 担当：大谷、大久保

Tel : 03-3261-7431 Fax : 03-3261-7432 e-mail : [office@aao.ne.jp](mailto:office@aao.ne.jp)

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-10-9 九段 VIGAS ビル 2階